

その他の木材・木製品製造業における木材、竹材を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	長さ4mぐらいの木材を、2人で持った時に、片方の者が指を滑らせて木材を放してしまい、運悪く下に鉄のローラーがあり、指がローラーと木材に挟まれて怪我をしてしまった。	41	1~9
1	11~12	梱包作業中に、左肘をねじるような感じで痛めた。	52	10~29
2	8~9	芯材組立工程の木芯材投入口で、芯材を入替作業時、通常フォークリフトが待機してから芯材を動かすが、フォークリフトが待機場所に入る前に芯材を動かし、投入台から落ちそうになった為、手で押さえようとしたところ、芯材が崩れそうになり、体を避けたが、逃げ切れず、右足の上に芯材が崩れ骨折してしまった。	38	50~99
2	10~11	材料のパーティクルボード（約15kg）を台車に移し替えを行っていた。両手で材料の間に手を離し忘れ材料の間に手を挟んだ。右手中指の先端を骨折した。	54	50~99
3	13~14	倉庫内で出荷する木材の取り出し中、ラック上に積まれた木材の上段部分を取り出したときに、その下にあった木材が崩れて落下し、左足首に当たり受傷した。	47	50~99
3	15~16	山林で五切作業をしているとき、チェーンソーで切った残りの材が、自分の方に押されてきて、左ひざに当たり、押し倒されて左ひざ内側のじん帯を損傷した。	65	1~9
5	10~11	木質チップをトラックに積み込む作業をしていた際、積み込む作業が終わって二人で掃除していたところ、天井（高さ6m）にあるチップの排出口からチップの塊	33	30~

		(30cm四方) が落下し、箒で掃除をしていた被災者の背中に直撃した。		49
6	9~10	カウンターレーンと客席の間の通路で検品、納品を行っていた。折り畳みコンテナから食材を出し、両手に物を持って移動しようとしたところ、コンテナに足が当たって体のバランスを崩し、転倒してしまった。手がふさがっていたため体左側を強打し、左大腿骨骨折した。	27	10~29
7	10~11	柱の積んであるところからチップにする柱(約15cm角×3m)を取ろうとした所真中あたりの木が崩れて右くるぶしの上に落ちて損傷した。	60	1~9
7	15~16	工場内にて、約2m程先の場所へ材木(コンパネW1200H2400重さ約20kg1枚)を移動させるため持ち上げた際、手が滑り、50cm程上から左足親指の上にコンパネが落下した。	19	10~29
7	14~15	工場にて木材を運んで地面に置く際に、木材の下端に取付してある金物で左足親指の先を挟み負傷した。	21	50~99
7	12~13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材(高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm)が、右足の安全靴に落下(高さ1m)し、右足の甲を負傷した。	39	100~299
7	14~15	縫製作業中、作業場の床で、床のトゲが刺さり負傷した。その日は大丈夫だと思いい病院には行かず、その後も就労したが、次第に腫れ上り、痛みも強くなってきた。	66	1~9
11	9~10	テーブル製材機の前で、製材をしていて、4000mm×105mm×105mmの角材が何本か崩れて、足に乗ってしまった。その後は、通常の作業を続けていたが、段々と痛みが増したらしく、翌日、骨折と判明した。	49	1~9
12	14~15	本社工場内にて横切り作業中、製品の寸法カット後、余った製品を2m先の仮位置に移動中に、他の置いてあった材料に誤って足を引っかけて転倒し、右足脛と踵を負傷し、そのまま入院となった。	44	10~29

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html